

【コメント（アドバイス） E】（計画 ⑧）

県レベルの社会教育計画における家庭教育領域の内容を、詳細かつ体系的に作成していただき、全体的にわかりやすくなっています。

個々の点についてみると、計画体系では施策（戦略的な目標）に対して、それを達成するための手段となるよう施策の柱（(1) から (4)）が設定されています。同様に、施策の柱（達成目標）に対して、それを達成できるように、それぞれ 3～4 本の事業が位置づけられていると思います。

評価体系では、それぞれの事業ごとに事業実績にかかわる評価指標を作成していただいているとともに、事業の直接的な効果と事業目的達成度にみられる「施策や事業の再構築に取り組んだ市町村数・割合」、「コーディネーターが活動した数」等の事業の成果（アウトカム）を評価する指標を挙げているのはとてもよいと思います。それを集約していく施策の柱の評価も適切にまとめられています。

なお、施策レベルの評価の視点が①から⑤にまとめられているのは、それまでのプロセスから考えれば妥当な内容です。一方、計画体系の戦略的な目標は①から④となっています。評価の視点を対応させると、評価の視点の④にあたる施策や事業の拡充にあたる内容が戦略的な目標では隠れてしまっているようです。この内容を追加して新たな④として修正するかどうか検討されてもよいかと思えます。

全体としては概ね、計画体系と評価体系、各項目間の＜評価の視点＞＜評価指標＞の整合性がとれており、よくまとまっていると思います。

個別には、[戦略的な目標] と、その＜評価の視点＞＜評価指標＞が一致していないところがあり、[戦略的な目標] の検討・修正が必要です。「家庭教育に関して保護者や支援者の資質向上を図る」は、保護者と支援者では施策・事業や＜評価の視点＞が異なるため、別項目にする方がよいと思います。